

整形外科

1. 後期研修の特徴

- 1) 当科は日本整形外科学会の認定教育施設である。
- 2) 当院の整形外科における年間手術数約 450 例、外来患者数 1 日平均 150 名程度とこの地区における医療の中心的施設となっており、整形外科の臨床医としての知識、手術手技などを向上させるには十分な経験が可能である。
- 3) 外傷疾患が主であるが、変形性疾患に対する人工関節、骨粗鬆症由来の脊椎圧迫骨折などが入院されている患者様の主な疾患である。

2. 後期研修のための指導医

- 1) 南 昌宏 部長 日本整形外科学会専門医、
中部日本整形災害外科学会評議員
- 2) 重富 博之 副部長 日本整形外科学会専門医
- 3) 永山 宗一郎 医長 日本整形外科学会専門医
- 4) 余 玖卓 医長 日本整形外科学会専門医
- 5) 山本 卓哉 リハビリ科副部長 日本整形外科学会専門医
- 6) 三光寺由之 専攻医

3. 後期研修により取得可能な専門医

日本整形外科専門医

4. プログラム

■ GIO

外傷および変性疾患の初期対応や治療方針の決定するための知識を習得し、患者様の立場に立った治療を行うための経験を重ねる。

■ SBOs

- 1) 初期治療の重要性を理解するための患者様の術前、手術、術後を一貫して担当する。
- 2) 他の医師と治療方針を検討し、遂行する。
- 3) チーム医療であることを理解する。

■ Ls

- 1) 積極的に症例に取り組み、多くの治療方法を経験する。
- 2) 症例検討会にてチームで診断・治療方法を検討する。
- 3) 外来診察・手術を数多く経験する。
- 4) 学会発表を可能な限り行う。

<専門医コース>

- ① 当院において整形外科は他科とのローテーションは基本的には行っていない。
- ② しかし、希望があれば、その診療科と相談の上、ローテーションは可能となる。
- ③ 整形外科疾患への取り組み方や日常業務における疑問や相談に対応する。
- ④ スペシャリストへの研修を積み、6年修了時には、日本整形外科学会専門医試験の資格を取得できます。

■ Ev

- 1) 週2回の症例検討会にて評価する。
- 2) 症例への取り組み方、疑問に対して自ら文献検索したり、上級医師に積極的に質問したりする積極的な日常的行動も評価する。
- 3) 他のスタッフとコミュニケーションをとることができ、日常業務を行うことが出来ているか否かも評価の対象となる。

5. 大学との関連

大阪医科大学整形外科の関連施設

6. 将来の進路

- 1) 当院の関連施設で武田グループのスタッフとして勤務が可能である。
- 2) 個人の希望があれば大阪医科大学整形外科学教室への入局は可能である。
- 3) また、希望大学への斡旋も可能である。